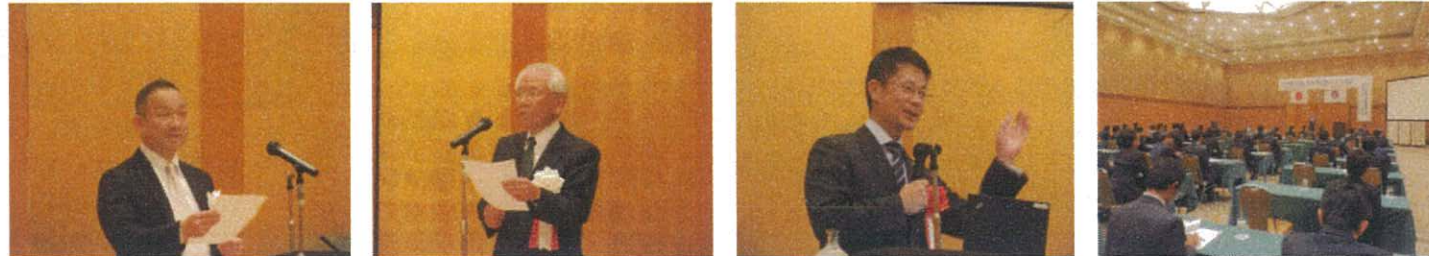


県知事を囲んでの集い 開催報告

広島県中小企業団体中央会（会長 伊藤 學人）及び広島県中小企業団体青年中央会（会長 丸本 修二）は、2月4日（水）、リーガロイヤルホテル広島にて「県知事を囲んでの集い」を開催した。

当日は、組合青年部関係者、中央会会員等70名が出席した。開会に先立ち、まず、広島県中央会伊藤學人会長及び青年中央会丸本修二会長より主催者挨拶が行われ、引き続き「イノベーションが生まれる最適環境を創る」～「事業環境」と「人材」でイノベーションの土壌を創る～というテーマにて湯崎知事より講演が行われた。



＜丸本青年中央会会長＞ ＜伊藤中央会会長＞ ＜湯崎広島県知事＞ ＜会場の様子＞

講演の中で湯崎知事は、「これからの広島県は、雇用や所得を生む推進力として、3つの視点でイノベーション立県を実現していきたい。3つの視点とは、「事業環境」「人材」「ファミリー・フレンドリー」である。その中でも特に広島県は、「人」に着目し、家族にとって広島に住みたいと思える県になることに力を入れたい、と語られた。

1つ目の「事業環境」については、起業・創業を増やし開業率を高め、企業の裾野を拡大させ、成長ポテンシャルの高い企業を引き上げることに重点をおく。企業の裾野を拡大する施策では、「ひろしま創業サポートセンター」にて、創業時から創業後まで、創業サポーターである中小企業診断士や公認会計士等が付き添い、事業計画策定から会社設立・経営まで一貫して支援し、広島県の創業数を年間約2,000件から4,000件にする倍増計画を考えている。

2つ目の「人材」については、幼・小・中の少年期までを育成期間に据える事を重視し、また、高度で多彩な産業人材の育成を図るため、企業内で重要な役割を担う人ができるだけ高度で長期の研修へ参加しやすくなるよう補助を行い、個人で貸付金を利用した方が広島に戻ってくる、そんな人材投資を行いたい。

3つ目の「ファミリー・フレンドリー」では、広島県も女性活躍促進、子育て支援、広島県への定住促進など、家族と一緒に暮らしやすい環境を整備していく。私は1月に育児に理解のあるボスとして、「イクボス宣言」をした。女性が働きやすい職場を形成する為には、男性の意識だけでなく、組織の「ボス」も育児を理解する必要がある。また、広島への定住促進では、「広島県に住む」というイメージが連想しやすくなるよう、地域特性を情報発信していく。」と語られた。

講演後の質疑応答では、参加者から子育て支援や企業内保育所支援施策、県立広島大学大学院 MBA 開設についてなど、様々なテーマの質問が寄せられた。

講演終了後、青年中央会佐竹副会長の乾杯あいさつにより懇親会が行われた。懇親会場では、湯崎知事に各テーブルを廻っていただき、参加者との意見交換や名刺交換を行うなど交流を深めた。和やかな雰囲気の中、最後に青年中央会の内田副会長による中締め挨拶があり、閉会となった。

組合青年部活動助成事業 実施報告

(1) 広島地区鈦工業組合 青年部

四国タオル工業組合（愛媛県今治市）を視察し、「仁方ヤスリ」の商標・ブランド化について研鑽

(2) 広島輸送ターミナル協同組合 青年部

CG動画によるKYT（運転危険予測トレーニング）セミナーを開催

(3) 広島県東部機械金属工業協同組合 青年部

自由民主党衆議院議員 小林 史明氏を講師に招聘し、「備後モノづくりの未来」について意見交換



～ 青年部活動助成事業を活用しませんか ～

青年中央会では、組合青年部活動の活性化を目的として、毎年青年部を対象に活動費の一部を助成しています。

助成実績として先進地視察や講習会・研修会、会員親睦など様々な活動に対して助成しています。

平成27年度も元気で活発な青年部活動に対し助成を行う予定です。

青中

HIROSHIMA

第27号

2015年11月発行
広島県中小企業団体中央会
広島県中小企業団体青年中央会

平成27年通常総会 開催報告

平成27年6月4日（木）アークホテル広島駅南において、広島県中小企業団体青年中央会通常総会を開催した。広島県中小企業団体青年中央会丸本修二会長（協同組合三菱広島協力会）の挨拶で始まり、議案の審議に入り、いずれも原案通り可決決定した。

役員改選では丸本会長が選任され、2期目の選任となりました。副会長には大方幸一郎氏（広島市指定上下水道工事業協同組合）、新副会長には田崎耕祐氏（協同組合三菱広島協力会）、田口裕司氏（広島県東部機械金属工業協同組合）が選任された。（その他の役員は右下記参照）

総会終了後はマツダスタジアムで懇親会を開催し、出席者はお互いの情報交換をするなど交流を深めた。



＜丸本青年中央会 会長＞



＜通常総会の様子＞



＜懇親会の様子＞

【平成27年度青年中央会 新役員】

このメンバーで青年中央会を盛り上げていきます！
会員皆様方のより一層のご理解、ご支援、ご協力をお願いします。

会 長	丸本 修二	協同組合三菱広島協力会＜江波鉄工（株）＞
副会長	大方 幸一郎	広島市指定上下水道工事業協同組合＜（株）大方工業所＞
副会長	田崎 耕祐	協同組合三菱広島協力会＜（株）吉本コーテック＞
副会長	田口 裕司	広島県東部機械金属工業協同組合＜ユニテック工業（株）＞
理 事	円福寺 雅之	協同組合ベイトウン尾道＜（株）円福寺＞（直前会長）
理 事	丸元 圭司	広島県テント工業組合＜（有）共立テント＞
理 事	内田 裕之	広島輸送ターミナル協同組合＜丸一倉庫運輸（株）＞
理 事	谷口 佳陽	（株）イーライン
理 事	重森 修一	広島県板金工業組合＜重森板金工業（株）＞
理 事	若槻 一浩	広島県左官業協同組合＜若槻工業（株）＞
理 事	高田 浩平	広島県生コンクリート工業組合＜美建工業（株）＞
理 事	小島 浩章	協同組合ベイトウン尾道＜アオイ福原（株）＞
理 事	池久保典也	広島県電気工事工業組合＜（株）池久保電工社＞
理 事	竹内 恒彦	広島県菓子工業組合＜（株）平安堂梅坪＞
理 事	新谷 浩之	中国表面処理工業組合＜新和金属（株）＞
理 事	棕田 裕士	（株）ムクダ
理 事	村上 明裕	中国塗装協同組合＜（株）村上塗装工業＞
理 事	中島 武志	広島県電気工事工業組合＜中島電業（株）＞
監 事	田口 裕以	広島県東部機械金属工業協同組合＜（株）田口製造所＞
監 事	藤原 克実	（有）このみや

青年中央会または組合青年部活動についてのお問い合わせは青年部中央会事務局まで

Tel 082-228-0926 E-mail chuokai@chuokai-hiroshima.or.jp

第13回 海外研修inハノイ

本年の青年中央会視察研修はベトナム北部に位置するハノイを訪問した。ベトナムは中国を含めたASEAN諸国の中心に位置し、特にハノイは中国華南エリアの玄関口として近年発展が続いている。安価な労働力だけではなく、親日的で穏やかな国民性が日系企業の安定操業の大きな礎となっており、今後の海外展開・ビジネスチャンスの拡大を図る上で魅力の溢れる国である。

JETRO (日本貿易振興機構) ハノイ事務所 2月9日 9:00~10:30

講師：所長 川田 敦相、磯村 岳生

ベトナムの国土は約33万Kmで日本の約0.87倍、人口は約9,000万人で世界第13位である。国土が南北に長く、地理、気候風土に起因する発展形態の違いなどから北部(ハノイ)、南部(ホーチミン)の2つの地域に分けて語られることが多い。一般的に北部は首都、政治の中心であり、南部は商業都市である。

日本からの対越直接投資は2008年のリーマン・ショック後、大きく減少したものの、円高等の影響もあり2010年から増加に転じて13年には500件に達している。特に2012年においては新規大型投資案件トップ10のうち、7件が日本企業(東急電鉄、ブリジストン、リクシルetc)である。近年は円安の進行・定着や大手日本企業の進出が一巡したことで大型投資案件は激減し、すでに進出している日系企業のサポートを主体とした中小規模案件が主流となっている。

このような中、ベトナム地方省は外国投資を誘致すべく、港や高速道路、電力供給網などのインフラ整備が急ピッチで進められており、製造業の他、サービス産業分野での進出が増加している。本年10月にはイオンが3号店オープン予定がある他、日系の病院、集荷・宅配サービスなどの小規模投資案件も順次実施される予定である。

このような対外投資が続いている背景として、以下の要因がある。

- <メリット>
- ・事業コスト(電気料金、水道代、賃金)がASEAN主要都市と比較して安価
 - ・人口ピラミッド上、若年層の構成が厚く、労働力が豊富
 - ・国民の所得水準が年々微増しており、消費熱が高まっている
 - ・良好な対日関係 など

- <デメリット>
- ・賃金上昇率が高い
 - ・法制度の不透明な運用、行政手続き・税制の煩雑さなどに加え、国の方針転換に伴うカントリーリスクがある
 - ・新労働法関連(13年5月施行)により、年間残業時間の制限、労働組合費の上納など
 - ・中古機械・設備・生産ラインの輸入に関する通達(中古機械の輸入制限など)

また、ベトナム人の国民性と、大手製造メーカーを支える部品メーカーの技術力が向上してきたことから、日系企業が中国などで実現できなかった高付加価値製品の生産拠点として期待されている。これらが進展すれば、ベトナムは日系企業の製造・輸出拠点としての役割を果たす重要な国に発展する可能性がある。

BIKEN VIETNAM Co.,Ltd 2月9日 13:20~14:30

講師：代表取締役 高田 忠義

美建工業(株)(広島県福山市)が親会社となる現地法人。2006年(平成18年)ハノイに進出し、生コンクリート・コンクリート二次製品の製造販売を行っている。

高田社長よりハノイでの投資許可取得から工場の立ち上げ、人材確保、販路開拓など、中小企業が海外進出する魅力や留意点について経験談をお聞かせいただき、意見交換の後、工場の視察を行った。

外国人技能実習制度を活用するために協同組合を設立(2002年)し、ベトナムへ頻りに訪問する中で、インフラ整備に対する需要の大きさと生コンクリート・コンクリート二次製品の品質の悪さが進出のきっかけとなった。会社設立後、2007年から操業を開始する予定であったが、建材の調達や建設作業員の確保等の問題から工場の完成~操業が2008年11月となり、日本ではあり得ないほど当初計画から大幅にずれ込んだ。

主要設備はすべて日本から持ち込み、従業員の教育は日本人のコンクリート技師が担っている。1つの作業に対する習熟を高め、生産性の向上を図っている。賃金は約13,000円/月であるが、上昇率が高くなってきていることに懸念しているとのことであった。

結びに、ぜひ、可能性溢れるベトナムで新たなチャレンジをして欲しいとの言葉をいただいた。

月日	行程
1 2/7 (土)	広島空港 → ノイバイ国際空港 09:00 15:40 瑞泉酒造(株) 訪問 識名園 訪問 チェックイン 懇親会「PRESS CLUB(ハトナムフランス料理)」
2 2/8 (日)	視察・観光グループ:ホーチミン廟、旧市街等の視察 ゴルフグループ:フェニックスゴルフリゾート 懇親会「EDO(日本料理)」
3 2/9 (月)	視察研修 ・JETRO ハノイ事務所訪問 ・BIKEN VIETNAM 責任有限会社 ・TOTO ベトナム 懇親会「Nha Hang Hoa Vien」
4 2/10 (火)	ノイバイ国際 → 広島空港 11:35 20:15



TOTO VIETNAM Co.,Ltd 2月9日 15:30~17:00

講師：副社長 石川 秀美、生産管理部 関田 隆之

住友商事(株)が管理・運営する第一タンロン工業団地内のTOTOベトナム(便器、洗面器など衛生陶器の製造)を訪問、工場視察をしながら石川副社長に製造工程や独自の技術・人材育成等について説明を受けた。

TOTO(株)は世界18カ国に34拠点(販売拠点16+製造拠点21)を展開している。ベトナムにおいては1975年まで、米軍の備品としてTOTO品が輸入されていたが、南ベトナム政府崩壊により輸入が停止された。1986年のドイモイ政策を受け、1990年から輸入販売が再開され、2004年から現工場の操業が開始された。

生産した製品は日本(55%)、米国(5%)へ輸出、現地販売(35%)となっており、ベトナムでの販売展開は8社6エリアの代理店に加え、220社の販売ディーラー網を構築し、「TOTO=日本製の高級衛生陶器」というイメージを定着させるため、主に百貨店、ホテルなど高級施設を重点的に営業している。

衛生陶器の原料は陶石、粘土、長石など、20種類以上の天然素材の原料を調合・成形しており、焼成前の仕掛品は柔らかく、非常にデリケートな作業が求められる。ベトナム人を主力に製造ラインを構築しているが、丁寧かつ素早い作業を徹底させることに一番苦心している。また、施釉技術など熟練工の技術をプログラミング化し、ロボットによって量産生産に対応している。今後はより一層のローカライズによりベトナム国内でのシェア拡大に取り組んでいきたいとのこと。



【婚活イベント事業「森コン」(後継者育成事業)を初開催!】



9月27日、山県郡安芸太田町にて、婚活イベント事業「森コン」(後継者育成事業)を開催した。イベントは発案から実施まで約1年かけ、共催である安芸太田町ヘルスツーリズム推進協議会と、安田女子大学協力のもと行った。男性参加者は青年中央会会員の組合から募集し、女性参加者は「広島県こいのわプロジェクト」の広報協力等により一般募集を行い、男女計52名が参加。

後継者不足や人材不足により、業界や企業規模によっては廃業や事業の縮小を余儀なく強いられるケースも少なくない。若者同士での出会いの場が無く、独身の後継者が多く、切実な問題となっているとの声があり、青年中央会では、所属員の一層の発展に期することを目的に、安芸太田町の「森林セラピー」と共催により、「婚活イベント事業」を実施することとなった。

当日は簡単な自己紹介を行い、深入山セラピーロードへ移動し、男女各3~4名ずつの組となり、一組ずつ入山。セラピーロードの道中では安田女子大学学生が作成したクイズや立て看板などを設置し、参加者が話題のきっかけとなる工夫を施した。下山後は、「いこいの村ひろしま」へ移動しフリータイムを設け、ピュッフェ形式のバーベキューを楽しみながら参加者同士が交流を図った。その後、参加者は意中の相手を投票。11組のカップルが成立するという高いマッチング率となった。今回のイベントを通じて参加者から得た感想や意見を基に継続事業に向けて検討を行っていく予定としている。

組合青年部全国講習会inしまね

島根県松江市の「島根県民会館」にて、9月11日、「平成27年度組合青年部全国講習会」(主催:全国青年中央会/全国中央会)が開催され、全国から若手経営者・後継者など約250名が参加。広島県青年中央会からは10名が参加した。

全国講習会では、JR西日本より、鉄道を核に地域を起点とした発想に立ち、地域に根ざした社会貢献活動を推進するとの講演があった。また、荒神谷博物館より島根の伝統文化をテーマに講演が行われ、終了後、活発華麗な舞と荘重で正雅・古典的な詞章が特徴的な「石見神楽」が披露され、島根の伝統・文化に触れた。旧日本銀行松江支店の建物を利用した工芸館「カラコロ広場」で懇親会が行われ、松江の地酒が振る舞われた。全国各地から参加した仲間が活発に交流を深め、会は大いに盛り上がりを見せ、全日程を終了した。来年度は神奈川県において開催予定。



【全国講習会の様子】



【石見神楽】



【大会参加者】